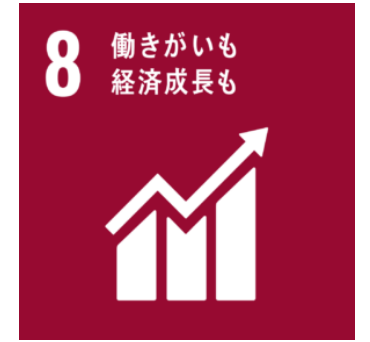


アートという付加価値がもたらす 竜ヶ崎商店街の再興

県立竜ヶ崎第一高等学校

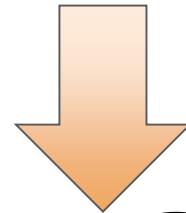
石田泰智 菌部なづな 滝澤真央 滝下琳
月

テーマ設定の理由



・たつのこモールとは違った魅力を作る

・TAP(取手アートプロジェクト)に参加して得た体験を取り入れた地域密着型の商店街へ構築しなおす



今までと違ったアプローチ



アート

よくわからないもの

人間の生活に
関係ないもの

名絵画の良さがわからない

アートってなに？



無用の長物

現代アートってなんか・・・

上手な絵はアート？

アートは趣味？



アートによる効果

価値観が多様化し人間関係が希薄化
新型コロナウイルスによる人との孤立

ART

人々の交流を深め連
帯感を生む効果

地域コミュニティの醸成

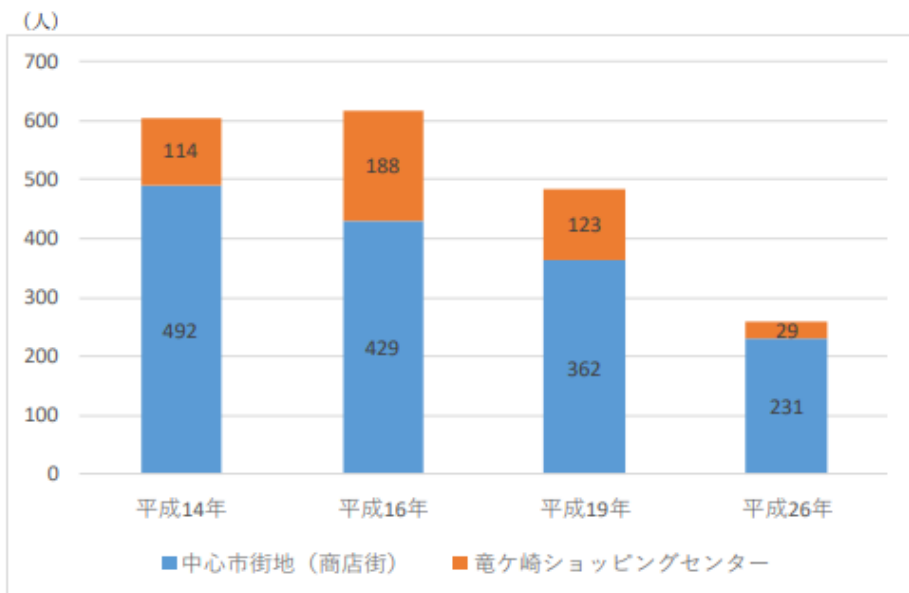
商店街の現状 1

- 売場面積の縮小
- 従業員数の減少

大規模商業施設の設置

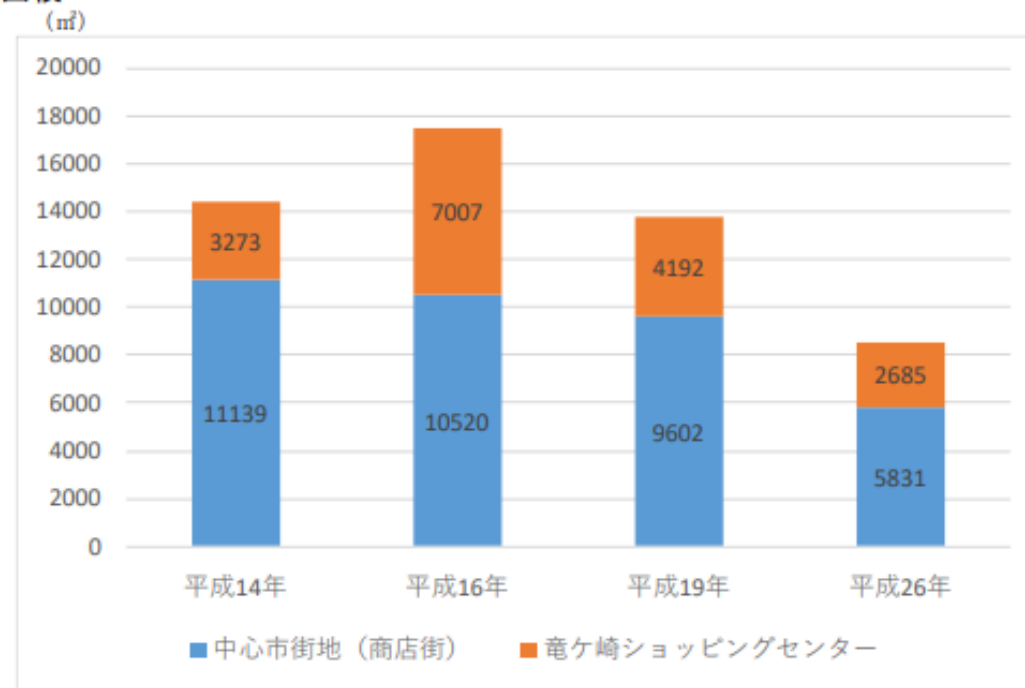
市場全体の縮小

■従業員数



資料:商業統計

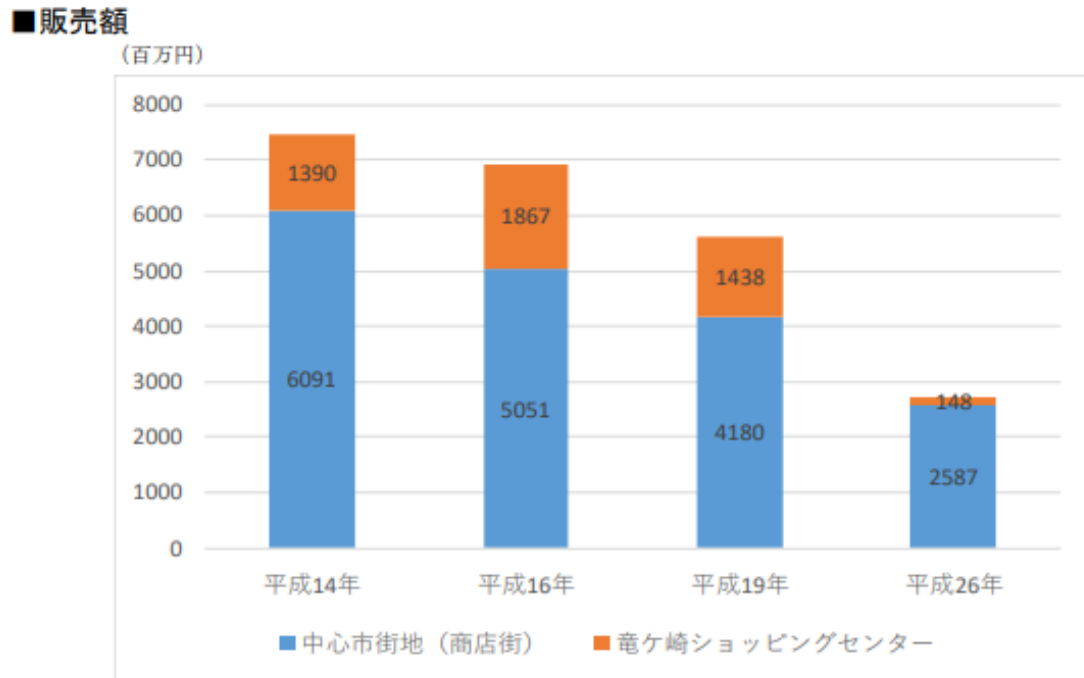
■売場面積



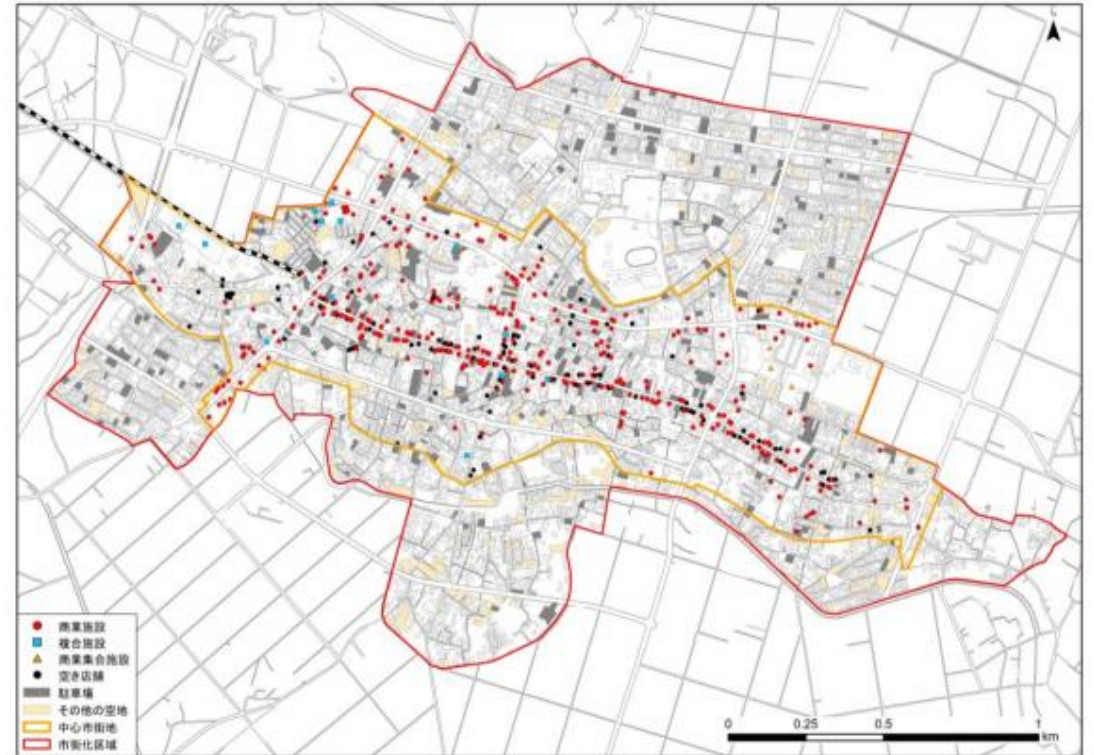
資料:商業統計

商店街の現状 2

- 空き店舗増加
- 販売額減少



空き店舗状況



資料: 都市計画基礎調査

➡ 人気がなく閑散とした街並みに

現状に至った問題点

空き家、空地の点在

有効利用

後継者の不足、高齢化

商業機能

時代のニーズに合っていない

交通の利便性

外観の維持

駐車場の不足

建物の老朽化

解決するためには・・・

商店街の土地利用を活性化

+ 新たに魅力を生むだけでなく短所を長所に変えていく

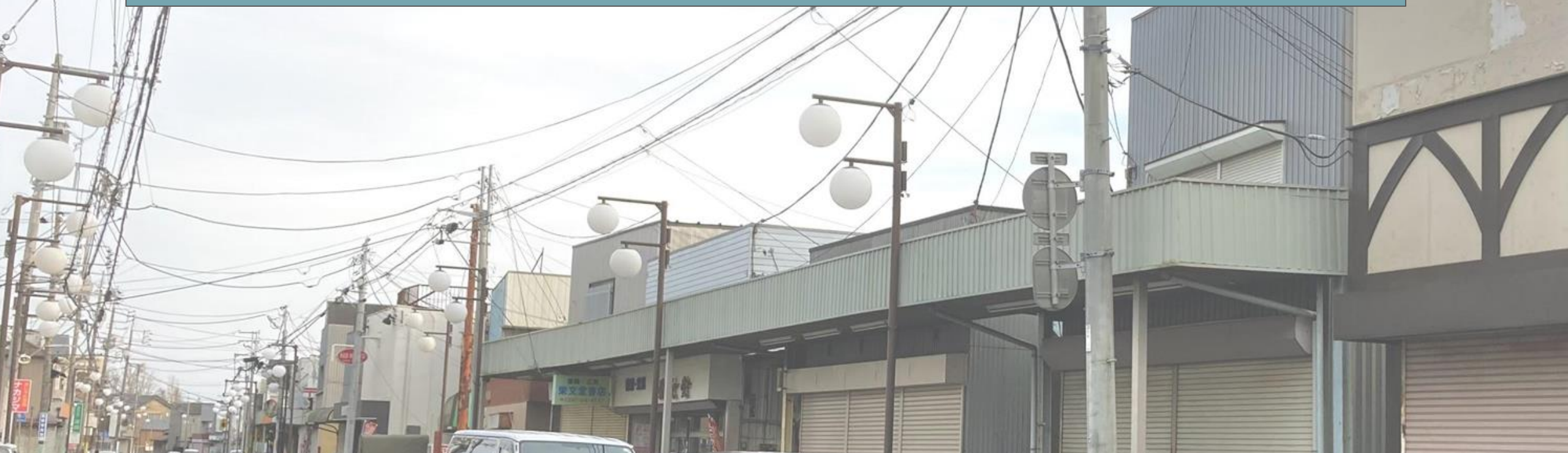
例 駐車場の不足



歩行をメインに楽しめる街に

新たな商店街の価値の創造

生活の拠点が商店街にある町

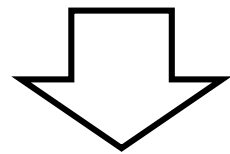


現在のアートと社会状況

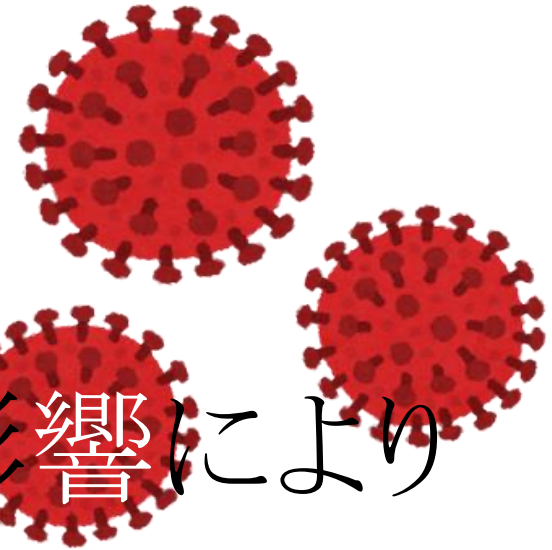
新型コロナウイルス拡大の影響により

多くの若手芸術家たちが孤立、苦境に

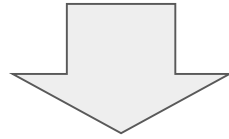
人と人との物理的接触が避けられる



人々の間に『分断』の意識



主案 建築のモデルコースに



空地や空家、老朽化した建物など
大規模にリノベーション

商店や飲食店の勧誘も
並列して行う

従来の外観を一掃
市内外でのイメージアッ
プを図る

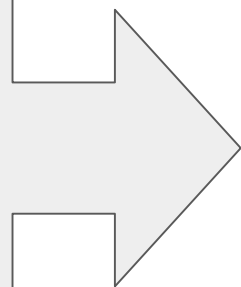
- ①独立間もない建築士、アーティストに協力を仰ぐ
- ②開業希望者の呼び込み

費用について：市内の工務店、材木店の利用を奨励し、特
に市内店舗を利用した開業希望者には割引を適用

効果



芸術家たちの活躍の場
商店街の見どころになる
市内の工務店等の収入
新鮮さ・特別感の創出



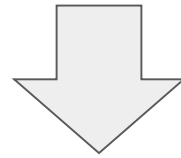
活気が生まれる

人が訪れるきっかけに

経済状況の改善

具体案 1 アートによる子育て支援

- ・暗く人気が少ない→
子どもが安心して遊べない商店街周辺の公園
- ・共働き家庭の子どもに交流の場を



子供達が安心して遊べる場所

学童

体験型ワーク
ショップ

お絵かき教室

子供食堂

アトリエ製作

効果



地域で一体となる

- ・子供—大人間のつながり
- ・大人同士のつながり

いろいろな立場の人にとって有用な場所

- ・買い物中に子供を遊ばせられる
- ・子供のお迎えついでに買い物

訪れやすい雰囲気

- ・子供がいることで明るく
- ・活気がある

具体案 2 商店街から空地进行なくす

• 貸出スペースの設置

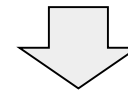
特にアートで活用するイメージ

- 週末の屋内外イベント開催
- モデルルームを一部レンタル可能に
- アートの力を借りて今風のオシャレなお店を

• 大学のオフィスを設置

大学内のものとは雰囲気を一風変え
足を運びたくなるようなスペースに

市内の流通経済大学のオフィスを設置



若者が自然と増える

• 駐車場の増設等

+ α 交通の便の悪さの解消、集客効果を高めるため

関鉄利用者への割引適用

竜ヶ崎商店街リノベーションイメージ図



園部なづなさんが描きました

展望

明るく華やかな雰囲気

アートへの入り口

新たな魅力が生まれ人でにぎわう街

長く愛される街に

他にはないオリジナル性

地域コミュニティの強化

子どもが安心できる施設環境

他市での類似したプロジェクトの成功事例

愛知県瀬戸市

ART WALKホウボウ

昔ながらの商店街の店々に作品を展示し、アートの楽しさを体感できる街なかお散歩アートイベント。

日常生活  アート

街の魅力を再発見

タネリスタジオ

商店街の元電気屋さんの廃ビルを借り空間を設計。

制作スタジオ、カフェ、アートギャラリー、事務所、商店などに利用。

ツクリテの主体性、自主性、地域性を軸にしたコミュニティの場の創造

瀬戸市の事例から見る効果と課題

瀬戸市 例)

銀座通り商店街...



効果 空き店舗活用などによる来店客の増加、賑わいの回復

課題 既存店舗の店主の高齢化→事業への不参加

龍ヶ崎市でも同様の効果、課題が見込める
→特に既存店舗の利用についてさらに考えを重ねる
必要がある

提案内容 まとめ

龍ヶ崎商店街のリノベーション

建築士やアーティストと協働することによって、コミュニティの中心となるような商店街の環境づくりをする。

アートによる子育て支援

子供が安心して遊べる場所をアートと共に

土地利用

建築士、アーティストによってつくられた空間を様々な用途で利用